

薪ストーブ（AGNI-C）設置基準

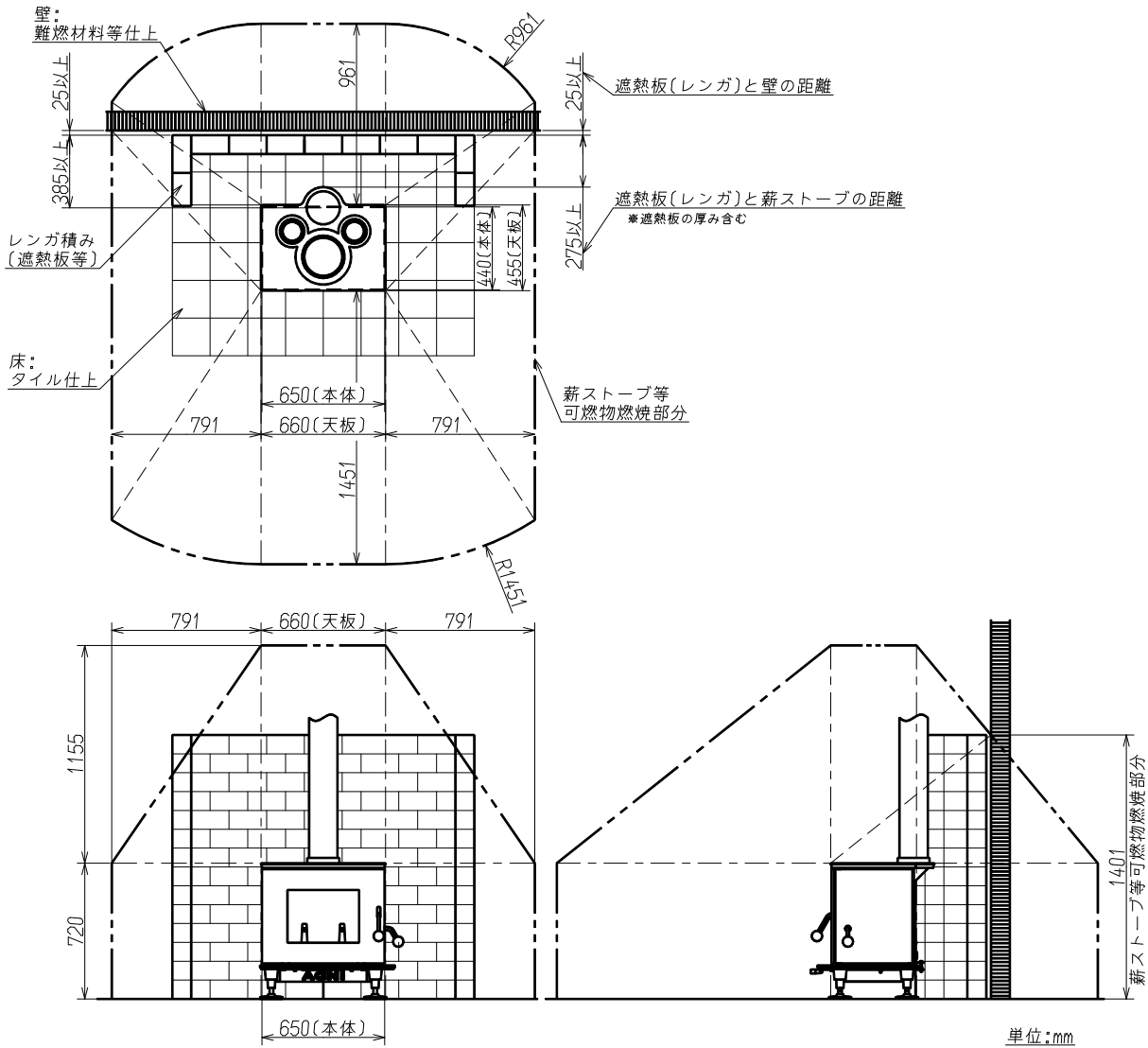
改 3 令和元年 8 月 20 日
株式会社 岡本

1. 薪ストーブを構成するそれぞれの面について面積を算出する。
- ①薪ストーブ正面 $65 \times 56.2 = 3653 \text{ (cm}^2\text{)} \cdots a1$
②薪ストーブ側面 $44 \times 56.2 = 2472.8 \text{ (cm}^2\text{)} \cdots a2$
③薪ストーブ裏面 $65 \times 56.2 = 3653 \text{ (cm}^2\text{)} \cdots a3$
④薪ストーブ上面 $66 \times 45.5 = 3003 \text{ (cm}^2\text{)} \cdots a4$
2. 薪ストーブからの可燃物燃焼部分を算出する
- ①薪ストーブ正面 $2.4\sqrt{a1} = 2.4\sqrt{3653} = 145.1 \text{ (cm)}$
②薪ストーブ側面 $1.59\sqrt{a2} = 1.59\sqrt{2472.8} = 79.1 \text{ (cm)}$
③薪ストーブ裏面 $1.59\sqrt{a3} = 1.59\sqrt{3653} = 96.1 \text{ (cm)}$
④薪ストーブ上面 $0.0106 \times (1 + 10000 / (a4 + 800)) \times a4$
 $0.0106 \times (1 + 10000 / (3003 + 800)) \times 3003 = 115.5 \text{ (cm)}$

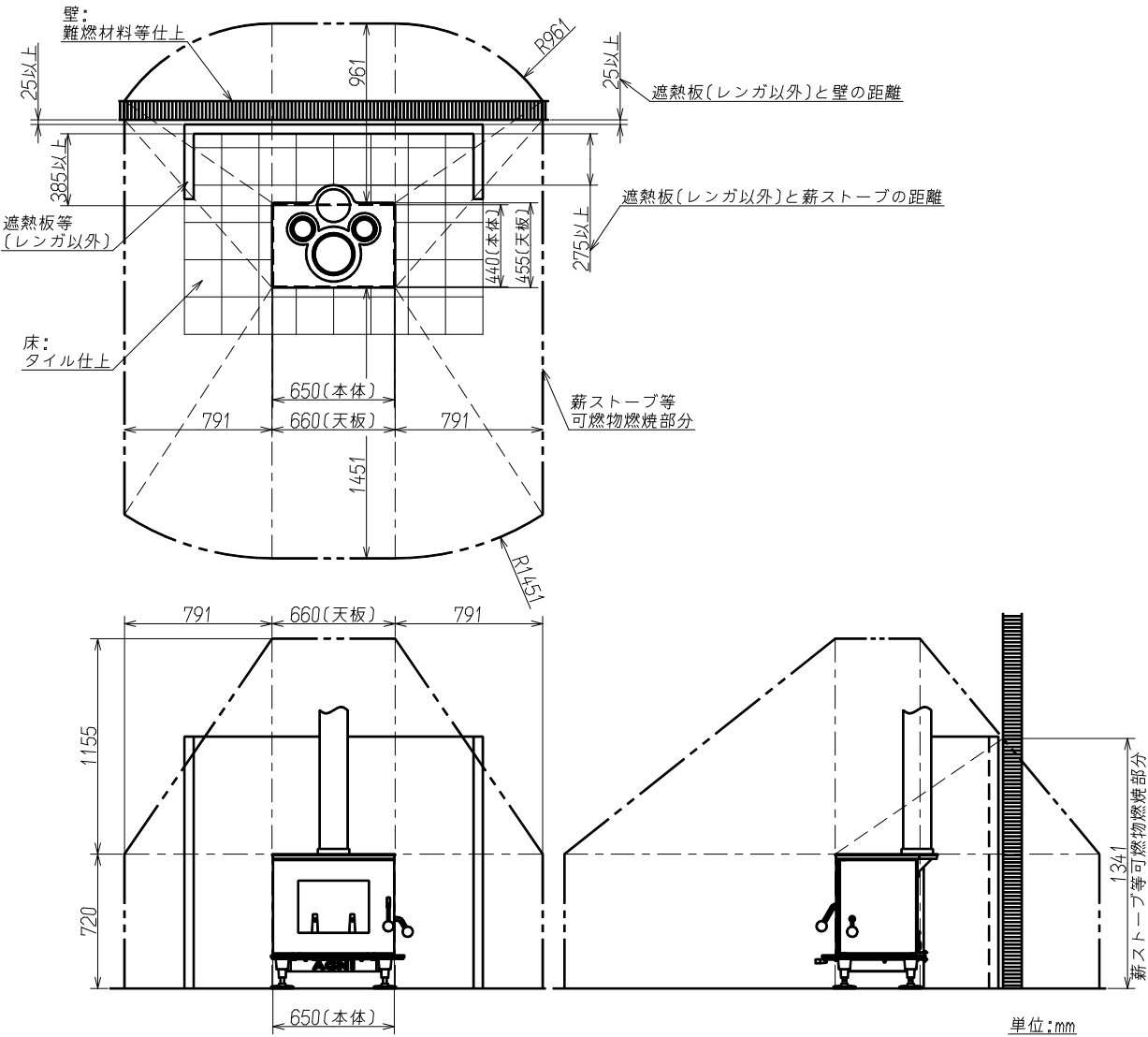
参考文献：
準不燃材料とした内装仕上げに準ずる仕上げ
国土交通省告示第 225 号：平成 21 年 2 月
住宅の内装防火設計マニュアル
独立行政法人 建築研究所：平成 21 年 12 月

薪ストーブを壁に並行に置いた場合

遮熱板がレンガの時

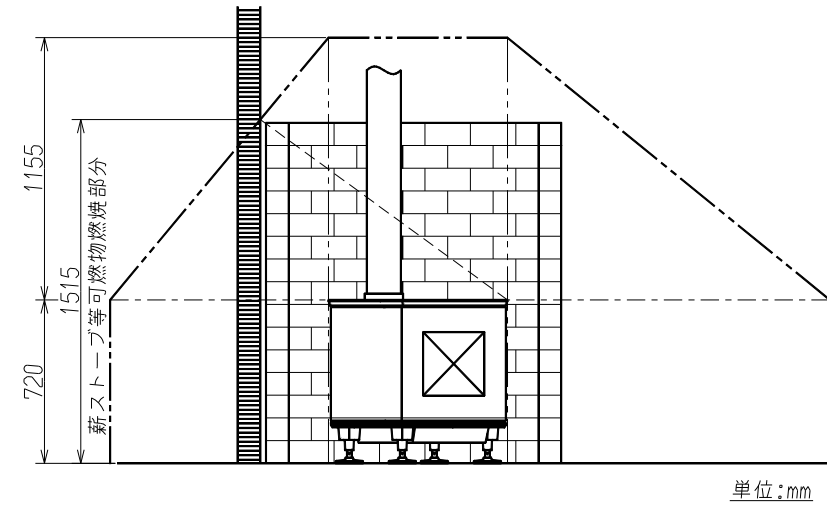
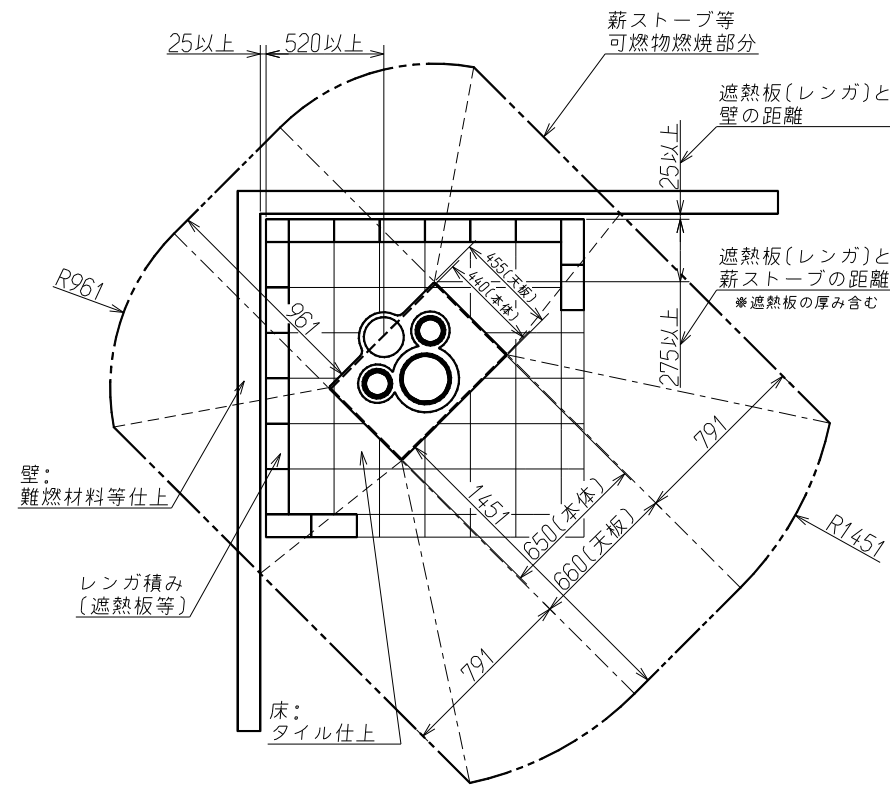


遮熱板がレンガ以外の時



薪ストーブを壁のコーナーに置いた場合

遮熱板がレンガの時



遮熱板がレンガ以外の時

